

狸小路西界限

若い店主によるお店が続々オープンし、扉の向こうに美味しい食事と会話が溢れる狸小路西界限。西創成地区(※)第7町内会会長であり、狸小路8丁目商店会副会長でもある長谷川さんの声かけで、この界限の老舗から新入りまで店主が大集合。狸小路西界限への愛と未来を語り合う!



千葉 栄佑
(男のイタリアン屋台 suEzou)

長谷川 興生
(八光書房)

梶原 信幸
(HABANA)

東 弘 (う月食堂)

—最初に、皆さんがお店を開く場として狸小路西界限を選んだ理由を教えてください。

千葉：僕室蘭出身なんですけど、室蘭にもずらん通りという商店街があって。その面影があるのか、この辺に来ると落ち着くんです。昔からこの界限が好きで、よくお酒を飲みに来ていたこともあって、店を出すならここがいいと思って。よく梶原さんの HABANA へ行っては色々相談していました。

梶原：僕は今までお店を 22 軒作ったんだけど、主に南 3 条界限でずっとやってきていて。自分の中で、狸小路は高嶺の花って感じでずっと憧れだった。実際ここで営業したら、最高だね。今までは大体 5 年間自分で経営したら、従業員に譲って次の店を作っていたけど、HABANA はもうこの場所で11年続けている。離れられない場所なんだよね。

東：私が親に言われたことだけど、飲食店や商店をやっている人たちにとって、狸小路に店を構えることは夢だったらしいです。親父は 1935 年に、う月の前身であるマロニエ喫茶店をオープンさせて、夢を叶えることができたから満足したと思う。「狸小路以上の場所は、道内にない」って話していました。先ほど千葉さんがずらん通りのことを言っていたけど、狸小路も昔、鈴蘭灯や鈴蘭型ネオンが設置されて、ちょっとした鈴蘭街だったんですよ。

長谷川：1958 年から 60 年にかけて、狸小路 1 丁目から 7 丁目にアーケードができる前は、鈴蘭灯が両側にありましたね。82 年に狸小路 1 丁目から 6 丁目のアーケードがリニューアルして今の形になって。7 丁目は初代のまま残ったから、今それが財産になっている。あのアーケードを好んで、店を開く若い人もいます。ファブカフェさんみたく、光がたくさ

ん入るから 8 丁目が断然いいと言う人もいるし、様々ですね。
—生まれも育ちも狸小路の長谷川さんや東さんから見ると、この西界限の魅力とはどんなところでしょう？

長谷川：最近思っているんだけど、ここには人を受け入れる雰囲気がある。新しく店を構えた方々も、みんな挨拶してくれるし、この地域に進んで馴染もうとしてくれている。千葉さんも、いつもニコニコして対応してくれるしね。この雰囲気に共鳴して、また新しく店を出す人がいたり、お客さんが足を運んだりしてくれているんじゃないのかな。

東：昔の下町みたいな雰囲気はあるよね。コンビニでもスーパーでも、昔の市場みたいな対面販売じゃないでしょう？この界限では、対面販売のような雰囲気が味わえると思うんだ。今は人と人の温かみあるつながりを感じさせる場所が、貴重になってきているから、この雰囲気は魅力だね。ど

の店も個性的で、マニュアル化されていないし。
—下町みたいな雰囲気といえば、以前 HABANA 姉妹店の BETTY (狸小路 6 丁目内) へ遊びに行った時に、近くのお店の方が貸してもらった生クリームを返しに来ていたことがありました。

千葉：僕もたまに M's スペースさんに、みりんや醤油を借りに行くことがありますよ (笑)。

長谷川：そういえば以前、店の近くにあった居酒屋の方が、天ぷらシートがないって、うちに借りに来たことがあったの。ここは古本屋なのに (笑)。探したら何年も前のものが残っていたから、結局それを貸したんだけど。

—これからこの狸小路西界限に、期待することは何ですか？

長谷川：以前は「シャワー効果」といって、イベントを開催することによって中心街に集客して、そこから周辺地域に人が流れていくという図式があった。でも、周辺地域に目的を持って来てくれる人が増えることによって、そこから中心に人が流れていくという図式もできるでしょう？この狸小路西界限の発展が、中心街の発展にもつながるんじゃないのかな。だから、この辺に若い人の店がどんどんできていけばいいなと思いますよ。「ここで店を出したい」と言ってくれる若者を見ると、頑張らせて思います。

千葉：この界限に仲間入りしたばかりでこんなこと言うのもなんですが、大事なものは愛ですよ。お客さんやスタッフ、この地域に対する愛。

東：確かに、私もここで何十年も生きているから、愛に満ち溢れているね。

梶原：それを言うなら僕も愛だらけですよ (笑)。この界限にはまだ余地があるし、若い世代が入ってきて、自然とよい感じになっていくと思います。これからが楽しみです。

※狸小路 5 丁目から 8 丁目にかけて、道路を挟んで南側は西創成地区、北側は本府地区。

